

公益社団法人日本中国友好協会
2013年度(平成25年度)事業報告

平成25年4月～平成26年3月

1. はじめに

2012年9月の「島問題」以降、日中関係は厳しい状況におかれ、民間交流に困難をもたらしている。協会は一日も早く両国関係の改善を願い、民間交流を促進している。両国首脳会談の早期実現を願い、アピールと決議を採択した。

(1) アピール

2012年9月の日本政府による尖閣諸島の国有化以来、日中間の民間交流は停滞を余儀なくされて、協会活動にも大きく影響し困難な状況が続いている。

協会は、6月17日開催した第3回定時総会において、日中関係の改善を願い「日中関係の再構築へのアピール」を採択した。

(2) 第10回定例理事会決議

突然、12月26日に安倍晋三首相の靖国参拝により、日中関係が一層悪化した現状を深く憂慮し、1月22日開催した第10回定例理事会において平和外交を求める「第10回定例理事会決議」を採択した。

2. (公社)日中友好協会代表団

10月21日～23日まで、加藤紘一会長を団長とする(公社)日中友好協会代表団(一行13名)が中日友好協会の招きで訪中。22日午後、中日平和友好条約締結35周年及び中日友好協会成立50周年記念中日関係シンポジウムと祝賀レセプションに参加した。

シンポジウムでは、劉徳有元文化部副部長と丹羽宇一郎前中国大使が基調講演を行い、参加者からの意見発表があった。講演に先立ち王秀雲中日友好協会副会長の挨拶で開会し、谷井昭雄協会名誉副会長、熊波中国外交部アジア局副局長及び木寺昌人中国大使が挨拶した。レセプションでは、唐家璇中日友好協会会長の挨拶ではじまり、加藤紘一会長が挨拶をした。

また、代表団は21日午後、周長奎中華全国青年連合会副主席(共青团中央書記処書記)と会見、23日午前、王晨全国人民代表大会常務委員会副委員長兼秘書長と会見した。

3. 協会の組織運営

(1) 今年度は、定時総会1回、定例理事会4回及び常務執行委員会10回開催した。第3回定時総会(6月17日開催)は、2012年度事業・活動報告と収支決算報告を承認した。なお、総会では日中関係の現状を踏まえて「日中関係再構築へのアピール」を採択した。

第10回定例理事会(1月22日開催)は、2014年度事業計画と収支予算を承認、及び第14回日中友好交流会議の開催や日中関係を憂慮する理事会決議を採択した。

財政委員会2回、組織委員会2回及び広報委員会3回開催した。

(2) 2013年度末現在の都道府県日中友好協会(以下「県協会」と略す)は、42の県協会が加盟している。未加盟は群馬県、宮崎県の2県。未組織は島根県、長崎県、沖縄県の3県である。

(3) 全国女性委員会

6月18日、東京において第18回全国女性委員会総会を開催した。2年間のまとめと今後の方針を決め、岩木みどり氏を委員長に再選し、副委員長5名を選出した。また、全国女性委員会結成30周年記念事業を埼玉県川越市で開催することを決めた。

11月18日、役員会を開催し、結成30周年記念事業を2014年6月13日～14日に開催することを決めた。

(4) 青年委員会等及び女性委員会等のある県協会は次のとおり。

青年委員会等：北海道、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、神奈川県、長野県、京都府、大阪府、和歌山県、岡山県、香川県、高知県、福岡県、（14県協会）、

女性委員会等：北海道、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、香川県、高知県、熊本県、大分県、（24県協会）

(5) 表彰

日中平和友好条約締結35周年を記念し、各県協会に35年以上所属する永年会員489名を表彰した。表彰式は、6月17日、程永華大使、汪婉大使夫人（友好交流部参事官）らをお招きし開催した。当日は受賞者約50名が出席。

(6) 都道府県日中友好協会実務者交流会議

2012年9月の「島の問題」以来、今日まで日中関係は困難な状況が続いている。また、各県協会において、会員の高齢化と減少傾向を止めることが困難な状況があり、さらに財政の厳しい状況をいかに克服し、協会の事業・活動を活性化させ、若い人材に参加していただくため、どのように見出していくか大切な時期となっている。

今回、開催する都道府県日中友好協会実務者交流会議において、皆様の経験と知恵を生かして、未来志向ができるための第1歩となることを期待し、東西2ヶ所開催した。

西会場は、11月14日～15日、大阪府池田市において開催。19県協会42名が参加した。

東会場は、11月25日、宮城県仙台市において開催。10県協会29名が参加した。

4. 講演会等

協会は、(NPO) 東京都日中友好協会共催で1月22日東京において、村山富市元首相・協会名誉顧問と丹羽宇一郎前中国大使を招き、2014年新春対談を開催した。150名余りが聴衆した。

6月1日 加藤紘一会長が掛川市日中友好協会30周年記念総会で講演。

1月14日 村岡久平理事長が(NPO)福井県日中友好協会新春講演・懇親会で講演。

1月27日 橋本逸男副会長が茨城県日中友好協会2014年新春交流会で講演。

5. 青少年交流

7月24日～31日、中国宋慶齡基金会在主催の「第4回宋慶齡国際青少年交流キャンプ」に日本の高校生8名（国際基督教大学高等学校）と教師1名を派遣した。世界25カ国から約400名が参加し、「中国に来て世界の仲間をつくろう」をスローガンに交流した。

6. 文化、教育、学術などの諸分野の交流とミッションの派遣・受入等

(1) 訪中団等の派遣

7月24日～31日	第4回宋慶齡国際青少年交流キャンプ	9名
10月21日～23日	(公社)日中友好協会代表団(団長・加藤紘一会長)	13名
3月25日～31日	第31回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会 優勝者及び大学生部門出場者訪中	5名

(企画事業)

12月3日～8日	第2回中国こだわりの旅「四川省の世界遺産・文化・ パンダ素朴な古鎮を訪ねる6日間」(企画事業)	14名
----------	--	-----

(計41名)

(2) 訪日団等の受入

10月21日～26日	貴州省訪日団(団長・崔徳国貴州省銅仁市政府副秘書長)	3名
------------	----------------------------	----

(計3名)

(3) 中国の関係機関との交流

5月27日	王秀雲中日友好協会副会長一行歓迎夕食会
7月3日	中国大学生訪日団第2陣歓迎会
7月16日	北京市青少年キャラバン訪日団歓迎会
7月22日	中国大学生訪日団第3陣歓迎会
8月28日	中国青年ボランティア代表団歓迎会
8月30日	中国高校生長期招へい事業第八期生来日歓迎会
9月13日	中国経済界青年代表団歓迎会
9月24日	中国大学生訪日団第6陣歓迎会
9月27日	第24回佐川日中友好車輛整備技術研修開講式
10月11日	周国栄 上海市人民対外友好協会常務理事・日本処副処長一行来訪
10月29日	中国大学生訪日団第7陣歓迎会
12月4日	中国高校生訪日団第2陣歓迎会
12月5日	中国青年代表団歓迎会
12月16日	中国大学生訪日団第8陣歓迎会
1月19日	北京市青少年アニメ交流訪日団歓迎会
2月5日	香港高校生訪日団歓迎会
3月13日	王秀雲中日友好協会副会長一行との懇談

(4) 在日中国機関との交流

4月2日	村岡久平理事長が韓志強公使と懇談
4月3日	程永華中国大使と猪瀬東京都知事との夕食会
6月6日	程永華大使、猪瀬東京都知事を招き昼食会
9月26日	中国大使館主催 中華人民共和国建国64周年祝賀レセプション
9月28日	東京華僑総会主催 国慶節祝賀会
10月24日	東京華僑総会 日中平和友好条約締結35周年記念講演会
11月20日	中国教育関係者代表団及び中国高校生訪日団歓迎会

- 1 2月 1日 留日学人と美麗中国建設シンポジウム
- 1月14日 対聯の書、盛世の謳歌－歡樂春節 2014 中国新春対聯書道展開幕式
- 1月20日 江南の春－文化観光ウィーク及び“象外之意～中国優秀画家特別展開幕式
- 1月25日 後楽寮寮生委員会 春節祝賀会
- 2月13日 中国大使館・日中友好団体 2014 年新春会
- 3月25日 何平 中華人民共和国駐新潟総領事就任レセプション
- (5) その他
- 4月 2日 日中現代書道絵画名人展開幕式
- 4月24日 満蒙開拓平和記念館開館式
- 5月 8日 張晶絵画展開幕式
- 6月24日 美しき陝西－中国書画名家展開幕式
- 6月25日 「人民中国」創刊 60 周年感謝レセプション
- 7月 2日 中国人強制連行俘虜殉難烈士遺骨送還 60 周年殉難烈士記念法要
- 8月 8日 世界遺産 in チャイナ及び跡と魂－中国現代絵画展開幕式
- 9月 8日 燕京書道交流協会関西展・日韓交流書芸代表作品展・第 63 回玄遠社書展祝賀懇親会
- 9月 9日 京都造形芸術大学李庚水墨研究室作品展開幕式
- 9月17日 旅日華僑芸術家 9 人展開幕式
- 9月25日 東京新華ギャラリー除幕式及び新華社記者のファインダーから見る世界写真展開幕式
- 9月26日 中国を彩ったポスター展開幕式
- 9月30日 澄懷觀道～中国国画十人連展開幕式
- 10月 7日 薪火伝承～国画陶瓷特別展開幕式
- 11月 4日 工学院大学孔子学院創立 5 周年記念式典と歌舞団公演
- 11月19日 視覚中国「中国現代工筆画聯合展」開幕式
- 11月20日 日中企業経営者交流会 2013
- 3月 5日 「2014 年今年の四字熟語・四海兄弟」揮毫者・日中書道家五人展開幕式・揮毫会

7. 留学生派遣事業

(1) 2013 年公費留学

中国教育部及び中国大使館教育処の協力のもとに、中国政府奨学金を受給する公費留学生を選考し、20 名（長期のみ）を中国各地の大学に派遣した。

4月19日 中国大使館教育処に公費留学申請書提出。

8月 8日 中国留学研修会を開催。

8月23日 中国大使館教育処は「2013 年度中国政府奨学金日本人留学生壮行会」を開催。

8月下旬から9月上旬にかけて各自留学した。

(2) 2014 年公費留学

1月6日～2月7日 2014 年公費留学の応募受付をした。応募者数は 40 名。

3月9日

公費留学生選考面接試験を実施し、20名を内定した。

8. 中国語普及事業

(1) 第31回全日本中国語スピーチコンテスト

1月12日、第31回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会を開催。全国大会には、大学生部門10名、高校生・一般部門10名が出場した。優勝者は、大学生部門・宮田知佳さん（大阪府）、高校生・一般部門・白井絢奈さん（一般・千葉県）が獲得した。

なお、都道府県大会は、21箇所で開催115名が出場。該当県協会は大学生部門16名、高校生・一般部門11名をエントリーした。11月23日にテープ審査を行い、全国大会出場を選考した。また、都道府県大会には約1,100名の観客があった。

朗読部門には、中学生・高校生部門10名、大学生・大学院生部門10名、一般部門6名がエントリーした。テープ審査の結果、中学生・高校生部門3名、大学生・大学院生部門3名、一般部門3名が入賞し、当日の発表会で日頃の成果を披露した。都道府県大会には、324名が出場した。

(2) 第40回日中友好中国語夏期スクーリングは、全国5会場（内1会場は春期開催）で開催した。227名が受講した。

(3) 各県協会及び地区協会が実施している中国語講座（教室）は、28都道府県で開催している。

9. 丹羽宇一郎奨学金

協会は、丹羽宇一郎前中国大使の著書の印税による在日中国人留学生を支援する事業の協力依頼を受けて、「丹羽宇一郎奨学金」の募集、選考を行った。

10月1日～10月25日 応募受付をした。応募者数は459名。

11月7日 書類審査を行い、11名を選考した。

2月23日 面接試験を実施し、3名を決定した。

10. 中国緑化協力事業

日中緑化交流基金の2013年度助成

宮城県日中友好協会（吉林省九台市3年）、埼玉県日中友好協会（山西省呂梁市5年）、長野県日中友好協会（河北省邢台市内丘県2年）、三重県日中友好協会（河南省光山県2年、河南省嵩山県1年）の4県協会（5箇所）と金沢市日中友好協会（寧夏回族自治区吳忠市2年と青海省楽都県2年）が緑化事業を行っている。

11. 日中友好都市締結の推進と支援

(1) 主な友好都市関係行事

①8月3日、岐阜県と江西省は、友好県省締結25周年を祝う式典を開催。記念植樹を行った。杉山幹夫岐阜県日中友好協会会長が出席。②8月23日、大分市日中友好協会は、友好都市・湖北省武漢市から6名の選手を招き、青少年卓球交流交歓大会を開催。③10月18日～22日、神奈川県日中友好協会は、神奈川県・遼寧省友好県省締結30周年記念行事参加の訪中団を派遣。④10月12日～15日、福井県日中友好協会は、福井県・浙江省友好県省締結20周年記念して、

子供のバレエ日中合同公演を行った。⑤10月22日、福井県日中友好協会は、浙江省各界代表団の歓迎会を開催し、福井県と浙江省友好県省締結20周年を祝賀した。⑥10月27日～11月1日、長野県・河北省友好県省締結30周年を祝賀し、阿部守一長野県知事らが訪中。長野県日中友好協会から相澤孝夫副会長、西堀正司理事長らが同行した。⑦11月17日から京都府日中友好協会は、陝西省で開催の日中友好文化芸術展に参加し、京都府・陝西省友好府省締結30周年を祝賀した。⑧11月19日滋賀県は、湖南省との友好県省締結30周年を祝う式典を開催した。中村憲市滋賀県日中友好協会理事長らが参加した。このほか、関係地区協会が記念行事等を開催している。

(2) 日中間の友好都市および友好交流都市の締結数は367組(内、友好都市251組)。その中、県一省は37組が締結されている。(参考資料：(財)自治体国際化協会)

1.2. 日中友好7団体等との提携事業

(1) 日中友好7団体提携

5月17日 日中友好7団体理事長懇談会

9月26日 日中友好7団体理事長懇談会

2月13日 中国大使館主催の2014年新春会に日中友好7団体等の関係者が出席。

(2) 後援・協力は公演・展覧会等48件

1.3. 組織の充実・発展に関する事業等

(1) ホームページ・インターネットの積極的な活用

毎年12月に行なった組織基本調査によると、ホームページを開設している県協会は26県協会(前年比6増)メールアドレスを持っている県協会は29県協会(前年比同)であった。

(2) 満蒙開拓平和記念館

2006年7月から足掛け8年の歳月を経て、4月24日開館した。開館式には阿部守一長野県知事、岡庭一雄阿智村長、協会からは西堀正司常務理事(長野県日中友好協会理事長)らが出席。このほか150名余りが参加した。引き続き募金活動と展示資料の提供を呼び掛けている。

(3) 四川蘆山県大地震義援金、中国大使館を通じて贈呈

4月20日、中国四川省雅安市蘆山県で発生した大地震の被災地を支援する義援金の募金活動を行った。7月10日、義援金100万円を中国大使館へお渡しした。

(4) 雑誌「人民中国」創刊60周年記念

人民中国雑誌社は、6月25日、「人民中国」創刊60周年感謝レセプションを開催した。協会からは加藤紘一会長が出席し、挨拶した。協会は中国を理解するため、創刊当初から雑誌「人民中国」の普及活動をしている。

(5) 出版と会合等の開催

① 会報「日本と中国」は15回発行。6月から月1回発行に変更。(従来月3回発行。)

② 「友好手帳」2014年版は10月に発行。

③ 平山郁夫作品カレンダー2014は12月に発売。

④ 1月22日、2014年日中友好新年会((NPO)東京都日中友好協会と共催)を開催。

以上